

特別勘定運用部
2015年5月11日号
(2015年5月7日号と統合)

先週のポイント

ゴールデンウィーク中の海外市場では、金利が大幅上昇。量的緩和で流動性が低下する中、欧州債中心にポジション調整の動きが加速した。独10年債はパニック的な売りとなり、一時0.7%台後半まで金利が急騰。調整はこれまで買われてきた資産全般に波及し、日本株も大幅調整となった一方、ユーロや原油は買い戻しの動きとなった。雇用統計はほぼ予想通りの内容。利上げ観測後退で株、債券とも買われた。

	2014年3月末	3月31日	4月24日	5月8日	2014年3月末比	3月31日比	4月24日比
日経平均株価(円)	14,827.83	19,206.99	20,020.04	19,379.19	30.7%	0.9%	-3.2%
TOPIX(ポイント)	1,202.89	1,543.11	1,618.84	1,587.76	32.0%	2.9%	-1.9%
NYダウ(ドル)	16,457.66	17,776.12	18,080.14	18,191.11	10.5%	2.3%	0.6%
S&P 500(ポイント)	1,872.34	2,067.89	2,117.69	2,116.10	13.0%	2.3%	-0.1%
ナスダック総合指数(ポイント)	4,198.99	4,900.89	5,092.09	5,003.55	19.2%	2.1%	-1.7%
ユーロストック(ポイント)	323.35	377.92	382.13	375.02	16.0%	-0.8%	-1.9%
上海総合指数(ポイント)	2,033.31	3,747.90	4,393.69	4,205.92	106.9%	12.2%	-4.3%
円/ドル(円)	103.23	120.13	118.99	119.76	16.0%	-0.3%	0.6%
円/ユーロ(円)	142.13	128.91	129.38	134.18	-5.6%	4.1%	3.7%
ドル/ユーロ(ドル)	1.3768	1.0731	1.0873	1.1204	-18.6%	4.4%	3.0%
WTI 原油先物(ドル/バレル)	101.58	47.60	57.15	59.39	-41.5%	24.8%	3.9%

*金利は変化幅

日本10年国債(%)	0.64	0.41	0.29	0.42	-0.22	0.02	0.13
米国10年国債(%)	2.72	1.92	1.91	2.15	-0.57	0.22	0.24
ドイツ10年国債(%)	1.57	0.18	0.16	0.55	-1.02	0.37	0.39
イタリア10年国債(%)	3.29	1.24	1.44	1.68	-1.62	0.43	0.23
スペイン10年国債(%)	3.23	1.21	1.39	1.67	-1.57	0.45	0.27

*市場が休日の場合は前営業日の数値を記載しています。

(出所)Bloomberg

先週の市場動向(内外株式)

国内株式 大幅調整
・4/30の日銀金融政策決定会合で政策の現状維持を決めたことや、大型連休前に手じまい売りが出たことから連休前の日本株は大幅下落。
・連休明けもイエレン米FRB議長が米国株は「割高」と発言したことや欧米株安を受け、弱含む展開となった。

東証33業種別騰落率

(上位)	1	非鉄金属	1.1%
	2	銀行業	0.9%
	3	水産・農林業	0.5%
	4	卸売業	0.4%
	5	保険業	0.4%
(下位)	1	金属製品	-4.6%
	2	サービス業	-4.1%
	3	倉庫・運輸関連業	-3.9%
	4	医薬品	-3.7%
	5	情報・通信業	-3.6%

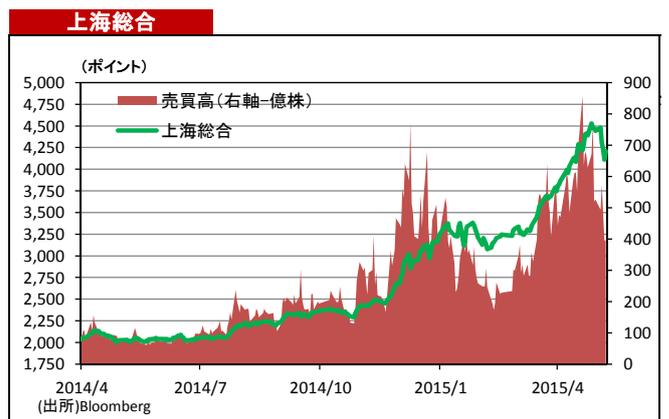
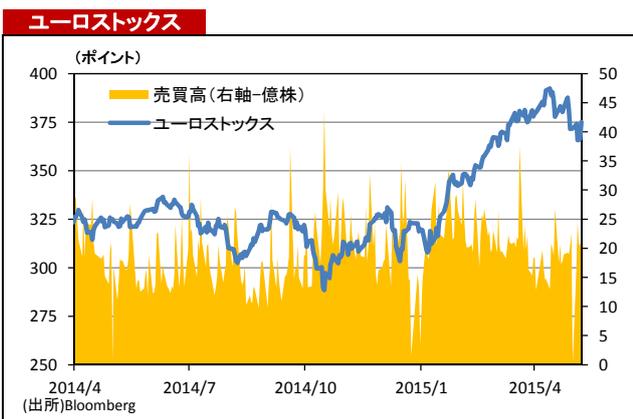
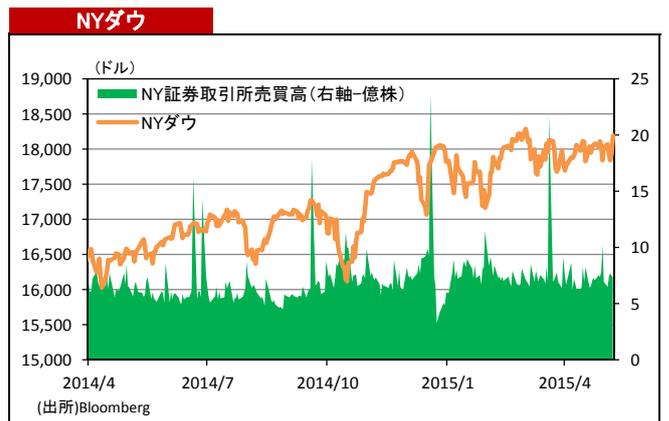
(出所)Bloomberg

外国株式 NYダウは上昇
(米国)米金利の急伸や貿易赤字の下振れを嫌気して下落する場面も見られたが、原油価格の続伸や複数のM&A報道、先週末の雇用統計を受けた利上げ観測の後退を背景に上昇。(中国)IPO増加による需給悪化懸念や証券取引印紙税の引き上げ報道等を受け下落。

S&P500業種別騰落率

(上位)	1	素材	2.6%
	2	金融	1.9%
	3	資本財・サービス	0.4%
	4	生活必需品	0.0%
	5	エネルギー	0.0%
(下位)	1	公益事業	-2.6%
	2	一般消費財・サービス	-1.3%
	3	ヘルスケア	-1.3%
	4	電気通信サービス	-0.6%
	5	情報技術	-0.3%

(出所)Bloomberg



先週の市場動向(内外金利、為替、経済指標)

国内金利 長期金利は上昇
 ・27日の週初、日銀の国債買入れオペの結果や、2年債入札への警戒感から金利上昇。その後、2年債入札が順調にこなされ、金利が低下する局面もあったが、海外金利の上昇を受けて連休後に0.4%台まで金利上昇した。

米国金利 米国金利は上昇
 ・27日の週はドイツ金利の上昇を受けて金利上昇。その後も、5日の予想を上回るISM非製造業景況指数や、週後半の欧州金利急騰を受けて一時2.3%台まで金利上昇した。しかし、週末の雇用統計を境にポジション調整が一巡し、金利は上昇幅を縮小した。

為替 ドル円相場はドル高
 ・27日の週前半は119円を挟んで小幅な値動きだったが、30日には米新規失業保険申請件数が低水準となったことを受けドル高が進行。一時120円台半ばまで上昇するも、その後の軟調な米経済指標などを受け119円台後半までドル安となった。

日本	経済指標	期間	予測	実績	判定
4/30	鉱工業生産(前月比/速報値)	3月	-2.3%	-0.3%	○
5/1	全国CPI(前年比)	3月	+2.2%	+2.3%	○

米国	経済指標	期間	予測	実績	判定
4/29	GDP(年率/前期比/速報値)	1-3月期	+1.0%	+0.2%	x
4/30	新規失業保険申請件数	4月26日	29.0万件	26.2万件	○
5/1	ISM製造業景況指数	4月	52.0	51.5	x
5/5	ISM非製造業景況指数(総合)	4月	56.2	57.8	○
5/7	新規失業保険申請件数	5月2日	27.8万件	26.5万件	○
5/8	非農業部門雇用者数変化	4月	22.8万件	22.3万件	x

欧州	経済指標	期間	予測	実績	判定
5/8	独鉱工業生産(季調済/前月比)	3月	+0.4%	-0.5%	x

中国	経済指標	期間	予測	実績	判定
5/9	消費者物価指数(前年比)	4月	+1.6%	+1.5%	x

(出所)Bloomberg

日米10年国債金利



(出所)Bloomberg

為替



(出所)Bloomberg

先週の経済指標1 市場予想比下振れも改善の動き



(出所) Bloomberg

先週の経済指標2 ユーロ圏物価に底入れの兆し



(出所) Bloomberg

米雇用統計 ほぼ予想通りの内容、緩やかな改善が続く



(出所) Bloomberg

・非農業部門雇用者数は、市場予想(22.8万)を下回ったものの、前月差+22.3万人(前月同8.5万人)と増加。ただし、2-3月合計で3.9万人下方修正されたことを踏まえると回復は鈍い状況。失業率は5.4%(前月5.5%)と低下した。

・平均時給は前月比+0.1%と3月の+0.2%から減速、前年比では+2.2%と3月の+2.1%から小幅加速したものの、長期に亘るレンジにとどまった。

・雇用統計を受け、FRBは年後半まで利上げを控えるとの見通しが強まり、債券市場は金利低下で反応。また、株式市場はこれを好感し、S&P500の全セクターが値上がりするなど幅広い銘柄が上昇した。

今後の見通し

株式市場は落ち着きどころを探る展開か
 ・米雇用統計はほぼ事前予想通りの結果となり、ややネガティブに傾きつつあった米経済の失速懸念は適度に修正された。欧州発のポジション巻き戻しの動きは、米雇用統計を境に一段落しており、今週のマーケットは調整後の落ち着きどころを探る展開となろう。
 ・日本では大型銘柄の決算発表が本格化し、今週は個別物色の動きが強まろう。但し、事前の予想が慎重なだけに、決算に対する失望売りは起こりにくく、どちらかと言えばポジティブサプライズが起こりやすい地合い。大手4ゼネコンの決算発表が続く建設株や、12-15日にかけて発表される地銀やメガバンクの決算には特に注目したい。海外ではギリシャ問題に係る欧州財務相会合、米個人消費のトレンドを確認する小売売上高に注目。

※ 現時点での市場見通しを示したものであり、当社の投資方針と必ずしも整合するとは限りません。
 ※ 本資料は当社が情報提供を目的に作成したものであり、保険募集を目的とするものではありません。
 ※ データの一部は当社が信用できると判断した情報源より作成しておりますが、正確性・完全性について当社が保証するものではありません。 お問い合わせ先: 特別勘定運用部
 ※ 最終ページのご連絡事項についてよくお読み下さい。

今週の注目イベントなど

日付	国	イベント	予測値
5/11	欧	ユーロ圏財務相会合	
5/12	欧	EU財務相理事会	
5/13	欧	1-3月期GDP(季調済・前期比)	0.4%
5/13	米	小売売上高(前月比)	0.2%
5/13	中	小売売上高(前年比)	10.4%
5/13	日	景気ウォッチャー調査(先行き)	53.3%
5/15	米	5月 ミシガン大学消費者信頼感指数	96

(出所)Bloomberg等

第一生命保険株式会社
 TEL 050-3780-1007

特別勘定特約に関する重要なお知らせ

※本お知らせは保険業法施行規則300条の2に準用される金融商品取引法第37条に基づき、特別勘定特約に関して表示すべき広告等規制に関して記載するものです。

【手数料について】

- ・特別勘定特約に関する手数料(付加保険料)は、当社が引受けのご契約者の年金資産(責任準備金)のうち特別勘定部分の経過責任準備金を各口ランクごとの金額に分け(円貨建株式口は1型・2型を通算)、それぞれに所定の手数料の率を乗じて得た金額の合計額を毎年ご負担いただきます。
- ・以下の手数料率表については、経過責任準備金ランクの上限および下限のみ記載しております。

■手数料率表

●確定給付企業年金保険 ●厚生年金基金保険(Ⅱ)	総合口	第2 総合口	円貨建 公社債口	円貨建 株式口 1・2型	円貨建 株式口 ハッジ型	外貨建 公社債口	外貨建公 社債口為 替ハッジ型	外貨建 株式口	外貨建 株式口 ハッジ型	外貨建 株式口 新興国型	短期 資金口
手数料上限 (1,000万円以下の部分)	0.600%	0.600%	0.450%	0.700%	0.400%	0.750%	0.750%	0.800%	0.500%	0.800%	0.050%
手数料下限 (500億円超の部分)	0.220%	0.220%	0.155%	0.230%	0.110%	0.230%	0.230%	0.240%	0.210%	0.240%	0.050%

●厚生年金基金保険	総合口	第2 総合口	円貨建 公社債口	円貨建 株式口 1・2型	円貨建 株式口 ハッジ型	外貨建 公社債口	外貨建公 社債口為 替ハッジ型	外貨建 株式口	外貨建 株式口 ハッジ型	外貨建 株式口 新興国型	短期 資金口
手数料上限 (10億円以下の部分)	0.440%	0.440%	0.330%	0.520%	0.400%	0.550%	0.550%	0.600%	0.500%	0.600%	0.050%
手数料下限 (500億円超の部分)	0.220%	0.220%	0.155%	0.230%	0.110%	0.230%	0.230%	0.240%	0.210%	0.240%	0.050%

※手数料=各口の(経過責任準備金の各ランクに当たる金額×所定手数料率)の合計

※消費税は別途申し受けます。

※上記のほか、資産運用の過程で売買の際に発生する売買委託手数料や、売買委託手数料に関する消費税に相当する金額、先物取引・オプション取引等に要する諸費用を運用費用の一部として間接的にご負担いただきます。なお、売買委託先、売買金額等によって手数料率が変動する等の理由から、これらの計算方法は表示していません。

※運用効率の観点等から投資信託による運用を行う場合、投資信託に係る信託報酬を運用費用の一部として間接的にご負担いただきます。なお、信託報酬については投資信託の運用会社や投資対象資産によって手数料率が異なる等の理由から、計算方法を表示していません。ただし、第2総合口における私募投資信託の手数料については、「ご契約のしおり」をご覧ください。

※上記の手数料には、一般勘定(主契約)の付加保険料、制度管理等に係る各種業務委託費、年金数理人費は含まれておりません。

【特別勘定特約 第2総合口の投資対象について】

第2総合口では、新興国債券、新興国株式、REIT(不動産投資信託証券)を投資対象とするため私募投資信託を用いて運用を行っております。投資対象の詳細については、「ご契約のしおり」をご覧ください。

【損失発生リスクとその発生理由】

- ・特別勘定特約は、一般勘定(主契約)の責任準備金(保険料積立金)の一部を特別勘定で運用し、この運用実績を直接、責任準備金(保険料積立金)に反映させる仕組みの商品です。
- ・特別勘定は、国内外の公社債、株式等を運用対象とするため、「株価の下落」「金利の上昇による債券価格の下落」「円高による外貨建資産価値の下落」等といった投資対象資産の価格下落リスクは責任準備金(保険料積立金)の下落要因となります。資産運用の結果は、その損失も含めてご契約者に帰属します。
- ・経済情勢や運用成果のいかんにより高い収益を期待できる反面、元本(特別勘定に投入された保険料の合計額)の保証はなく、運用実績が元本を下回ることがあり、損失を生じる可能性があります。

【ご留意事項】

- ・特別勘定における資産運用の成果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償、補填をすることはありません。
- ・特別勘定での運用にあたっては、ご契約者が特別勘定の特徴を十分理解した上で、ご契約者の判断と責任において行わなければなりません。

第一生命保険株式会社
東京都千代田区有楽町1-13-1
電話 03(3216)1211(大代表)